

英語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア	イ
【読む・書く力】まとまった英文を読み、内容理解力（読解力や課題解決能力）、表現力を伸ばす	【聞く・話す力】会話活動や発表を通して、実践的コミュニケーション能力を伸ばす

児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年 ・単語力（語彙力）や英作文などを書く力が十分には身に付いていない。コミュニケーション中心の授業展開やスピード感が求められる40分授業の影響が大きいと思われる。ア	・定期的な単語テストを実施する。また単元ごとや文法ごとの英作文指導やテストを実施する。英作文を書くために必要な文法事項（知識）が身に付いていない生徒を対象に、放課後の時間を活用した補習教室への参加を呼びかける。ア	・12月～2月	
第2学年 ・基本的な文を書ける生徒は多いが、新出事項の文法を学習すると、既習内容を忘れてしまい、書けなくなる生徒が多い。ア ・単語のみでも自身に関することを表現することはできる。一方で、情報量の多いリスニングや英語での指示に対して理解することが難しい。イ	・毎時の授業でワークシートを活用してフィードバックを行う。ア ・授業中の英語での指示を増やし、生徒が英語に触れる機会を意図的に作り出すことで、聞く力を伸ばしていく。イ	・12月～2月 ・12月～2月	
第3学年 ・習得した文法事項やシンプルな言い回しを英語で表現できない生徒が多い。ア ・質問に対し、単語だけで答えようと努めるが英文で答えることは苦手である。イ	・単元やまとまりでの復習確認テストを実施し、生徒の定着度を高めていく。ア ・オーラルイントロダクションでのやり取りや、教科書本文の内容確認で教員がより意識して解答を導いていく。イ	・12月～2月 ・12月～2月	

<p>■主体的・対話的な学習活動について</p> <p>1年 リーディング（長文）教材を用いた教え合い学習を行う。</p> <p>2年 既習事項を用いて、ペアでのやり取りを多く行う。</p> <p>3年 既習事項を用いて、グループや学級で紹介・発表をする。</p>	<p>■授業の終末の工夫</p> <p>1年 授業で扱った内容（文法など）の振り返りと宿題の提示。</p> <p>2年 授業内容の振り返りとワークシートのフィードバック。</p> <p>3年 授業の中心の振り返りとワークシートの実施。</p>
--	---